

活動の背景・目的

石川県能登地方でのトキ放鳥が令和8年度に行なわれると決定した。これを受け、これまでに何度もトキ放鳥を行い地域住民の協力の下、放鳥したトキを定着させることに成功した佐渡島でトキの飼育、繁殖、放鳥に携わっている施設・組織の方々のお話を伺い、能登地域でのトキ放鳥成功の鍵を握るのは何かを本校の学校新聞「いずみの原334号」にて特集し、学校内外へ伝えることを目的とする。

活動内容

I 佐渡トキ保護センター観察等、野生トキ観察・展望施設トキのテラス

- i 野生復帰ステーションの順化ゲージ及び監視モニターの観察
- ii トキのテラス内での時に関する情報の収集
- iii 環境省佐渡自然保護官事務所小竹佳穂自然保護官及び佐渡トキ保護センター中川寛子主任の取材 (写真右)

II トキの森公園

- i 佐渡トキ保護センター森章所長への取材活動 (写真中)
- ii トキの森公園訪問 トキ資料館見学
- iii トキふれあいプラザにて飼育下のトキを観察



III 佐渡市内の田畑での野生のトキの観察

(写真左 野生のトキとついに出会う)

成果・感想

佐渡島でトキの人工繁殖による時の個体数増加、放鳥後のトキの安定した繁殖を果たせたのはひとえに地域住民のトキ復活にける熱意と米農家の方々の時が暮らせる環境づくりのための、多大な協力があったからである。そして、地域住民の「トキ復活」という願いを支援するために国や県、市、JAなどの組織や市内の企業も団結してトキに向かいあっている実情を上記の取材から知った。

石川県のトキ放鳥は計画通りに実施されれば令和8年度に行われる。例え放鳥そのものは成功したとしても、トキが能登に定着するかどうかは地域の住民による手厚い保護と環境づくりにかかっていることを実感した。私たち石川県民は佐渡の方々のように、今後トキに真摯に向き合い続けることができるだろうか。トキのため、私たちは一層の団結が求められていると感じた。(右写真：トキふれあいプラザにて飼育下のトキ)

